

## 会員の広場



### 新しいことへの挑戦

北岡 一男（東京）

昨年6月、某印刷会社の役員を退任し、あと十数年は人に迷惑を掛けず、豊かな人生を過ごすため、どうしようか生活設計を考えていたところ、銀行時代の親友から経済倶楽部への入会を勧められて、即入会を決めた。

いつまでも若さを保つためには、何事にも

好奇心を持ち、「新しいことに挑戦」することが大切との信念を私は持っている。役員退任後、新しく始めたことが三つある。

まず一つ目は「クラシックギター」への挑戦だ。学生時代、我流で演奏していたが、本格的に学ぼうと今年1月からギター教室に通い始めた。まず姿勢、指の立て方、弾き方の基本を徹底的に修正していただきながら、毎日練習して6ヵ月が過ぎた。近い将来にはギターの名曲「禁じられた遊び」と「アルハンブラの想い出」を弾けるようになり、孫がピアノ、私がギターでアンサンブルをすることが、私の夢だ。

二つ目は、「フランス語」を日常会話程度にできるようにしたいと、4月からNHK

の「テレビでフランス語」を学び始めた。過日、経済倶楽部で「シエルブルーの雨傘」の映画を見たが、おかげさまでより深く鑑賞することができた。数年後にはフランスに行き、現地の人と話し、コミュニケーションを図ることが、私のもう一つの夢だ。

三つ目は、今年1月1日から、自宅の玄関に「国旗」を掲揚することにした。現役の時は、家族を守ること、会社を守ることだけに目が向いていたが、役員を退任し、余裕が出てきて、ふと思ったことは、自分は日本国のことを真剣に考え、それに向き合っていただろうかという反省だった。

国旗を掲揚しようと思ったのは、昨年11月における防衛大学校開校記念祭

への出席がきっかけだった。校内で出会った若者はみなキリッとした顔つきのうえ、挨拶も丁寧で、すごく好感が持てた。国を守ろうとの強い使命感で若者が頑張っているのに、自分は何も貢献していない。何か形に表わそうと国旗を掲揚することにした。残念なことには、私の住宅の周辺を見渡しても、我が家を含め、国旗を掲揚しているのは、たった2軒と、さみしい限りだ。

5月の講演会で日経ヴェリタス編集委員の前田昌孝さんがお話しされた、現役引退後にできる成長戦略の「三つの矢」もとても参考になったが、経済倶楽部では私はまだ若手の部類に入る。諸先輩の方々に学び、これからの人生を豊かなものになりたいと思っている。